

関係代名詞 <ページ3>

② 「目的格(もくてきかく)」の関係代名詞

「主格」に続きまして今度は「目的格」。

Lucy is a teacher who everyone likes. ルーシーは皆が好きな(好きだと思っている)先生です。

↓

主格の時の例文と似ているけど、who 以下が少し違っているのがわかるかな？

もともとはこの2つの英文から成り立っています。

Lucy is a teacher. / Everyone likes her.

ルーシーは先生です。 / 皆が彼女を好きです。

この2つの文を、1つにつなげてみると、

Lucy is a teacher everyone likes her. (←2つの文をそのままくっつけただけ)

…とはならず、

Lucy is a teacher **who** everyone likes. (ルーシーは皆が好きな先生です。)

と、なります。 さあ！ who が使われているという点は同じだけど、「主格」とどこが違うのかな？

【主格の関係代名詞】 Lucy is a teacher. She is liked by everyone.

↓

Lucy is a teacher **who** is liked by everyone.

【目的格の関係代名詞】 Lucy is a teacher. Everyone likes her.

↓

Lucy is a teacher **who** everyone likes.

…おおっと！ 主格の時と大きく違う点があるね！

もともとの文(2つあった文のうちの2番目の文: Everyone likes her.)の中の、

目的語(=「〇〇を」「〇〇に」(まれに「〇〇が」)という語句のことを「目的語」と呼ぶよ)が、who に変化していますね。

この who のことを、「目的格(もくてきかく)」の関係代名詞、と呼ぶのです。(^ _ ^)

では、なぜ、こうではないのか？ … Lucy is a teacher. Everyone likes her.

↓

Lucy is a teacher **who** likes her. … ×

もとの文の主語(この場合は everyone)を who に変えて、主格の関係代名詞！という可能性もあるよね。

でも、これは間違い。この場合は、everyone じゃなくて her を変えなければいけないのです。どうしても。

(^▽^)< ど、どうしても？

これについては次のページで詳しく説明しよう！ しばし待たれよ！ その前に…

【ミニ練習問題】 次の英文の「主語」に 下線 を、「目的語」に 波線 を引きなさい。和訳もせよ。

(1) I like him ()

(2) Ken saw Miki yesterday. ()

(3) My sister is eating an apple now. ()